

震災後のわが社

金泉ニット株式会社 福島工場

所在地：双葉郡葛尾村
事業内容：ニットウェア製造販売



2018年6月9日に葛尾村へ進出した弊社は、本社を愛知県岡崎市に置き営業を中心とした東京事務所を東京都台東区へ整備したニットウェア製造販売をする会社であります。

以前から岡崎本社から切り離して生産工場を整備する計画があり、東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故による復興支援をしようと双葉郡への企業誘致を検討して、自然豊かな葛尾村へ進出する計画を立て、生産工場として整備をして、金泉ニット(株)福島工場の操業に至りました。

福島工場は、編立工場なので基本的には縮絨等を行わない方式で最新の編み機を整備して生産し、岡崎市の本社で加工・検品・出荷しております。

将来的には、福島工場出荷作業まで行うようにして参りたいと考えております。

弊社は、福島県ニット協会にも加盟し、福島県内のビッグパレット等で開催されたニットフェアにも積極的に参加して製品の良さを理解いただき、沢山の人の購入していただいております。

更に今年度は、ホームページの作成やWebサイトの活用、ふるさと産品返礼品への参加も検討しているところであります。

この葛尾村は、葛尾村産業団地と東部産業団地の2つの産業団地6区画を整備しており、1社が金泉ニット株式会社福島工場、もう1社が間もなく建設をする計画であります。全区画で雇用の多い製造業が進出すれば、移住する人が増加し、商工業の発展に繋がるものと考えております。

現在、葛尾村へ帰還している人が334人と帰還率は24%であり、復興するには産業団地に製造業等の雇用創出できる企業が進出できるような環境等整備が図られれば明るい村づくりになるものと思っております。

この葛尾村は、自然豊かであり、ニットウェアの製造に関しては、水が超軟水であり、井戸を2か所掘削して22㎡のタンクに貯めて洗濯乾燥作業を行い、製造をしております。この水のお陰もあり、ニットウェアの肌触りが良く、着心地の良さなど素晴らしい製品ができる環境の村であると思っており、購入したお客様からも肌触りが良いとそのまま着てもチクチクしないと大評判であります。

村の休憩施設である「せせらぎ荘」のお風呂も超軟水の関係で温まりやすく評判が良く利用する人が増えており、お米も人気があり、今年度は清酒「でれすけ」を限定で製造し大評判になっており、製造した本数は既に完売しました。

超軟水の水で製造するものの良さをアピールして、多くの人に着用していただきたいと思っております。

なお、弊社のニットウェアの製品も葛尾村の復興交流館「あぜりあ」でも販売しており、大変好評得ているとこととあり、ふるさと納税の返礼品になればもっと沢山の人の着てもらえるものと考えているところであります。

弊社では、経験者大募集します。経験を活かしたい・働きたい方大歓迎です。履歴書を(〒979-1603福島県双葉郡葛尾村大字野川字湯ノ平84-6 担当:梅澤)まで送付ください。新型コロナの影響で、企業進出も難しい時代ですが、是非自然豊かなこの村に進出していただき、安心して生産ができる工場の誘致をお願いします。

産業団地の全区画で工場ができましたら、協議会でも結成して共有イベントの開催やレクリエーションを行うなど、コミュニケーションづくりができることを夢みております。